

コミュニケーションが苦手な 学生のためのICT活用



TEAM フルーツバスケット

目次

◆ 問題提起

◆ 課題解決

◆ 実施テーマ

◆ 実施内容

—ワークフロー

—①場・ツール

—②チェックツール

—③サポート

◆ まとめ



TEAM フルーツバスケット

問題提起

- ◆ 全入学時代→学生の多様化。
- ◆ 対面コミュニケーションが苦手な学生が増加。
 - 一 学生生活に支障が出る。
 - 一 就職活動の際にも支障をきたす。
 - 一 社会に出てからの適応ができない。

↓ 「学生生活が充実していない」

(学生)満足度が下がる。

(大学)評価が下がる。



TEAM

フルーツバスケット

課題解決

◆ コミュニケーション能力の向上

その手段の一つとして

学生の友人作りのサポート。



大学の積極的ななかかわり

◆ 学生に親和性が高いICTの有効活用。



TEAM フルーツバスケット

実施テーマ

「コミュニケーションが苦手な学生のためのICT活用」

目的

学生の満足度の向上！！

コンセプト

友人作りのサポート

目標

対面コミュニケーション能力を向上し、学生生活の充実化を図る。

評価方法(例)

学生満足度 前回調査比 5%アップ



TEAM フルーツバスケット

実施内容



① 場の提供

② 友達ができない
学生の抽出

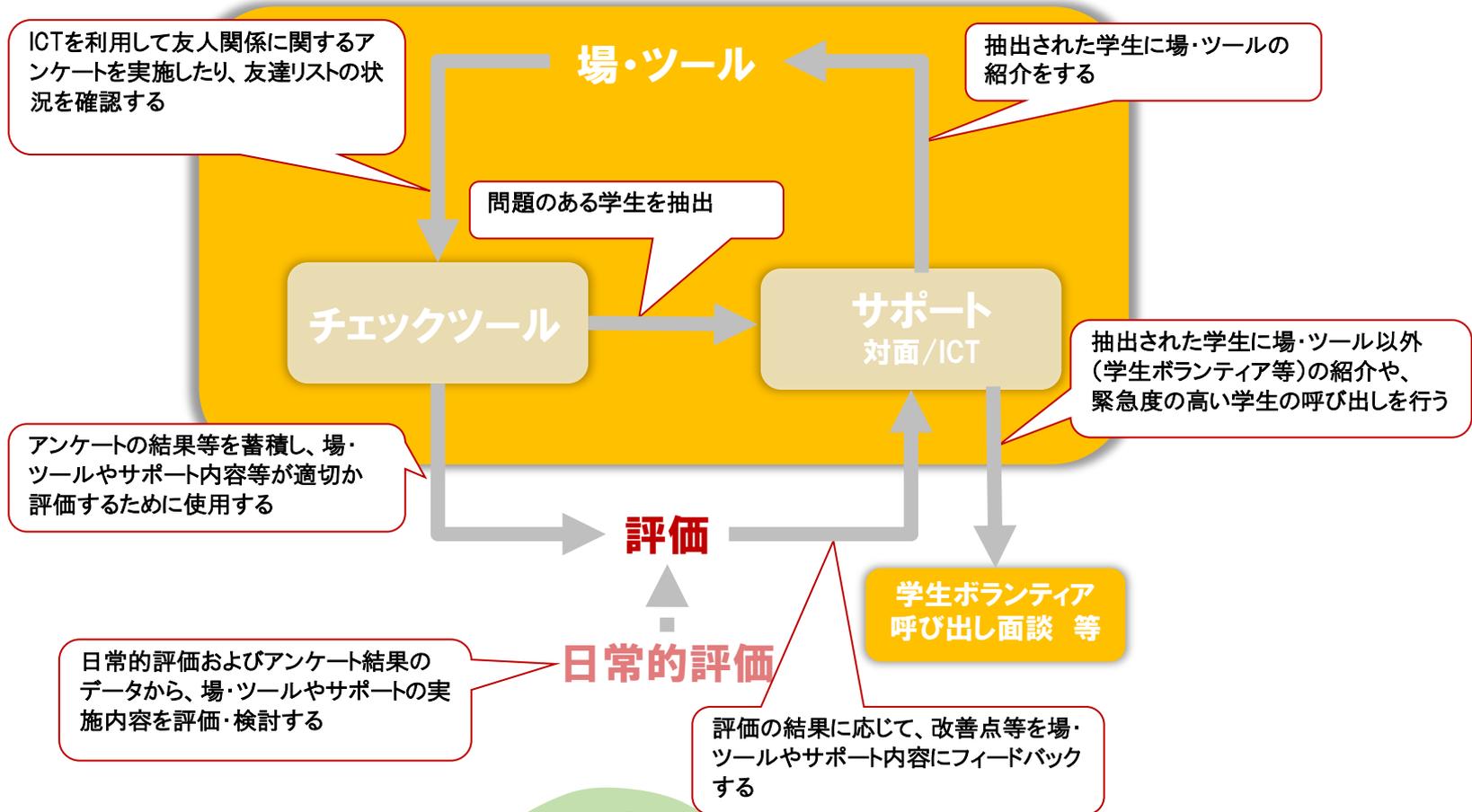
③ 友達づくりのサポート

④ ユーザーが安心して
ICTを利用するための
規程



TEAM フルーツバスケット

ワークフロー



TEAM フルーツバスケット

ワークフロー

- 1 場・ツール(SNS等)で定期的に友人関係に関するアンケートや友達リストの状況確認(チェックツール)を実施し、それらの結果から問題を抱えていると思われる学生を抽出。
- 2 抽出された学生に、ICTまた対面のサポート(場・ツールに関する情報提供や学生ボランティアの紹介等)を行う。
- 3 また、アンケート結果を蓄積しておき、次回のアンケート結果と比較することで、サポートを行った学生の状況が改善されているかを確認。
- 4 アンケート結果と、実際に実施したサポートで得られた結果等から、場・ツールやサポート内容について評価・検討を行う。
※ サポートを行ったにも関わらず、学生の状況が改善されていない場合は、紹介したサポートが適切ではなかった、サポート内容が十分ではなかった等、何かしらの問題点があったと考えられる。
- 5 評価の結果から、場・ツールやサポート内容等の改善を行う。



TEAM フルーツバスケット

①場・ツール

◆ SNS

1.入学前:楽しい雰囲気が出るブログ



2.入学後:小規模コミュニティー

例:授業・趣味・クラブ・サークル・出身高校・県人会

※学生サポーターが中心となってコミュニティーの企画・運営をする。



TEAM フルーツバスケット

①場・ツール

◆ 交換ブログ



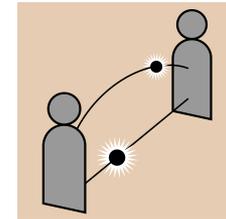
◆ 意見箱

(教職員と学生の相互コミュニケーション)



◆ コミュニケーション能力の教育

(e-learning等)



※ICT以外の一例

・イベント(宿泊オリエンテーション)開催

・あいさつ運動



TEAM フルーツバスケット

② チェックツール

◆ 定期的なアンケート



友人関係に関する内容

例：困ったときに誰に相談しますか？

スクリーニングによってサポートの緊急度、タイプの把握をする。

◆ 友達リスト



学内の友人を登録でき、友人の数や関係を把握できるようなもの



TEAM フルーツバスケット

③サポート

◆ 場・ツールの紹介・案内



◆ 学生ボランティアのサポーター

チェックツールのアンケートでサポーターの紹介



◆ 学内で役割を果たす場を作る

例:学内イベント補助、事務作業補助など



◆ 学生窓口への呼び出し(緊急度が高い場合)



TEAM フルーツバスケット

まとめ

友人ができる



コミュニケーション能力が上がる



学生生活の充実



学生の満足度向上



TEAM フルーツバスケット

スタッフ紹介

立正大学

札幌学院大学

中部大学

東海大学

大阪体育大学

青山学院大学

専修大学

(株)日立製作所

(株)アートスタッフ

塩谷 孝弘

砂田 絹子

高橋 功一

戸辺 涼子

松本 和典

松本 治美

丸橋 和彦

岡野 竜一郎

小林 原

ご静聴ありがとうございました。



TEAM フルーツバスケット